平成25年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成２４年１２月２５日

上場会社名　マックスバリュ東北株式会社　　上場取引所　東証第二部
コード番号　２６５５　　ＵＲＬ　http://www.mv-tohoku.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）宮地　邦明
問合せ先責任者　（役職名）取締役財経本部長 兼内部統制担当　（氏名）古谷　憲介　　ＴＥＬ（０１８）８４７－０１１１
四半期報告書提出予定日　平成２４年１２月２６日　　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有・無
四半期決算説明会開催の有無　：有・無

（百万円未満切捨て）

１．　平成２５年２月期第３四半期の業績（平成２４年２月２１日～平成２４年１１月２０日）

(1) 経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成25年２月期第３四半期	70,026	2.1	638	277.5	715	732.8	958	―
平成24年２月期第３四半期	68,568	1.1	169	△46.5	85	△64.7	△1,127	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
平成25年２月期第３四半期	50.71	50.66
平成24年２月期第３四半期	△65.47	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
平成25年２月期第３四半期	23,654	4,292	18.1
平成24年２月期	24,337	3,328	13.7

(参考)　自己資本　平成25年２月期第３四半期　4,281百万円　　平成24年２月期　3,320百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成24年２月期	―	0.00	―	0.00	0.00
平成25年２月期	―	0.00	―		
平成25年２月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

３．平成２５年２月期の業績予想（平成２４年２月２１日～平成２５年２月２８日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	―	900	―	800	―	600	―	31.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無
平成25年２月期は、決算期変更に伴い、12ヶ月８日の変則決算となるため、通期業績予想は12ヶ月８日間の予想数値を記載しており、対前期増減率については記載しておりません。

※　注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有・無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有・無

②　①以外の会計方針の変更　：有・無

③　会計上の見積りの変更　：有・無

④　修正再表示　：有・無

（3）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	平成25年2月期3Q	12,000,000株	平成24年2月期	12,000,000株
②　期末自己株式数	平成25年2月期3Q	7,806株	平成24年2月期	7,744株
③　期中平均株式数（四半期累計）	平成25年2月期3Q	11,992,218株	平成24年2月期3Q	11,992,282株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、平成24年12月20日付けにて、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・上記１.「平成２５年２月期第３四半期の業績」(1)「経営成績（累計）」の「１株当たり四半期純利益」「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」及び３.「平成２５年２月期の業績予想」の「１株当たり当期純利益」の金額については、Ａ種種類株式が転換仮定方式に準じて算定された株式数を、普通株式の期中平均株式数に加えて算定しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 2
（１）経営成績に関する定性的情報 2
（２）財政状態に関する定性的情報 2
（３）業績予想に関する定性的情報 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示 3
（３）追加情報 3
３．四半期財務諸表 4
（１）四半期貸借対照表 4
（２）四半期損益計算書 6
（３）継続企業の前提に関する注記 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 7
（５）重要な後発事象 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における経営環境は、東日本大震災後の復興需要などで緩やかな回復の動きが見られましたが、長引く円高や輸出の不振などによる企業の生産活動の減速、電力供給不安などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。当社が営業基盤とする北東北エリアにおいても、企業の生産活動の縮小等による雇用不安や個人消費の停滞が長期化しお客さまの生活防衛志向や節約志向が継続するとともに、競合各社との価格競争に加え業種・業態を超えた競争の激化など厳しい状況が続いております。

こうした中で当社は、『今がひとつになる時　対話と学び合いで売場に笑顔を咲かせよう』というスローガンを掲げ、お客さまの日々のくらしのニーズにこだわった品揃えによる営業力の強化と、イオンのブランド「トップバリュ」の売上拡大等による収益力の改善、おもてなしの心がこもった接客と魅力ある売場づくりに取り組んでまいりました。併せて当期を２年目とする「事業構造改革」として、収益力の向上、店舗網の再構築、財務体質の抜本的な強化の三本柱を主軸とした構造改革に取り組んでおります。

当第３四半期累計期間においては、大型改装を４店舗実施し立地特性に合わせた魅力的な売場づくりを進めるとともに、「イオンの快夏宣言」として開店時刻を午前７時に繰り上げ、朝食や昼食のための品揃えを強化して新たな客層の獲得に努めた他、「４時からデリカ」という取り組みによりできたて・つくりたて食品の訴求を継続して実施しております。また機能性と快適さを兼ね備えた「トップバリュ　ヒートファクト」をはじめとする衣料品コーナーの拡充を進めるとともに、生鮮食品部門でのトップバリュ商品の拡大などにより価格競争力の強化に努め、イオンの電子マネーＷＡＯＮのカードホルダー拡大などによる固定客づくりを進めてまいりました。またシニア世代のお客さまに向けて、小容量パックの充実、和惣菜や調理の手間を省く「トップバリュ　レディーミール」の品揃え、カートにお買い物カゴを乗せたまま精算ができる「カートインレジ」の設置などに努めてまいりました。

当第３四半期累計期間では、戦略的な価格政策により一点単価を下げ一人当たり買上点数を上げる積極的なシェア拡大を進めたことなどにより売上総利益率は対前年同期比 0.2 ポイント低下し 21.9%となりましたが、上記のような取り組みを実施した結果、期間中のお客さま一人当たり買上点数は既存店ベースで対前年同期比 103.5%、客数は同 102.1%、客単価は同 100.7%となり、既存店売上高は同 102.9%と改善いたしました。一方経費面では、収益性の向上のためコスト構造改革を継続して進めた結果、販売費及び一般管理費の総額は対前年同期比 2.0%の減少となりました。

以上の結果、当第３四半期累計期間の業績は営業収益 700 億 26 百万円（対前年同期比 102.1%）、営業利益６億 38 百万円(対前年同期比 377.5%)、経常利益７億 15 百万円（対前年同期比 832.8%）、四半期純利益９億 58 百万円（前年同期は 11 億 27 百万円の四半期純損失）となり増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べ５億 61 百万円増加し、63 億 40 百万円となりました。これは、繰延税金資産が２億 80 百万円、現金及び預金が１億９百万円、商品が１億６百万円増加し、流動資産その他が 32 百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ 12 億 44 百万円減少し、173 億 13 百万円となりました。これは、有形固定資産が、ショッピングセンター売却等で 10 億 78 百万円減少し、投資その他の資産が、差入保証金１億 38 百万円の減少等で１億 63 百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ６億 83 百万円減少し、236 億 54 百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ 64 百万円増加し、149 億 36 百万円となりました。これは、短期借入金が３億 60 百万円、未払消費税等が１億１百万円、賞与引当金が 99 百万円増加し、１年内

返済予定の長期借入金が３億67百万円、未払法人税等が１億４百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ17億12百万円減少し、44億25百万円となりました。これは、長期借入金が12億92百万円、長期預り保証金が２億71百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ16億47百万円減少し、193億61百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ９億64百万円増加し、42億92百万円となりました。これは、四半期純利益９億58百万円の計上により利益剰余金が増加したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2013 年２月期通期の業績予想につきましては、小売業界を取り巻く厳しい経営環境等もあり、2012年９月24日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2012年２月20日)	当第３四半期会計期間 (2012年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	713,851	823,736
売掛金	125,229	127,752
商品	2,256,518	2,362,807
貯蔵品	27,924	34,968
前払費用	171,973	193,530
繰延税金資産	75,185	355,458
未収入金	2,205,107	2,271,431
その他	205,390	173,082
貸倒引当金	△2,034	△2,071
流動資産合計	5,779,147	6,340,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,505,373	9,271,593
工具、器具及び備品（純額）	579,778	654,555
土地	5,168,201	5,222,409
建設仮勘定	10,463	36,381
有形固定資産合計	16,263,816	15,184,939
無形固定資産	26,612	24,517
投資その他の資産		
投資有価証券	59,920	62,250
長期前払費用	574,314	517,332
差入保証金	1,543,325	1,404,458
その他	104,412	132,972
貸倒引当金	△14,134	△12,927
投資その他の資産合計	2,267,839	2,104,086
固定資産合計	18,558,267	17,313,543
資産合計	24,337,415	23,654,238

（単位：千円）

	前事業年度 (2012年２月20日)	当第３四半期会計期間 (2012年11月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,810,511	6,846,705
短期借入金	2,230,000	2,590,000
1年内返済予定の長期借入金	1,954,900	1,587,000
未払金及び未払費用	1,862,229	1,858,193
未払法人税等	133,529	28,839
未払消費税等	50,789	152,169
賞与引当金	73,127	172,131
役員業績報酬引当金	12,361	9,272
設備関係支払手形	364,717	295,014
資産除去債務	―	8,002
その他	1,379,637	1,389,329
流動負債合計	14,871,805	14,936,658
固定負債		
長期借入金	2,550,850	1,258,000
退職給付引当金	291,962	331,679
長期預り保証金	1,819,955	1,548,174
繰延税金負債	88,087	108,492
資産除去債務	965,968	894,533
その他	420,312	284,193
固定負債合計	6,137,136	4,425,073
負債合計	21,008,941	19,361,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,585,000	3,585,000
資本剰余金	4,062,645	4,062,645
利益剰余金	△4,319,493	△3,361,409
自己株式	△7,155	△7,196
株主資本合計	3,320,995	4,279,038
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△50	2,279
評価・換算差額等合計	△50	2,279
新株予約権	7,528	11,188
純資産合計	3,328,473	4,292,506
負債純資産合計	24,337,415	23,654,238

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 (自　2011年２月21日 至　2011年11月20日)	当第３四半期累計期間 (自　2012年２月21日 至　2012年11月20日)
売上高	66,910,255	68,452,524
売上原価	52,107,779	53,428,171
売上総利益	14,802,476	15,024,353
その他の営業収入	1,658,058	1,573,751
営業総利益	16,460,535	16,598,104
販売費及び一般管理費	16,291,423	15,959,704
営業利益	169,112	638,400
営業外収益		
受取利息	2,525	1,782
受取配当金	1,043	1,178
債務勘定整理益	16,629	15,212
補助金収入	11,212	7,726
違約金収入	345	5,618
受取保険金	15,052	80,669
その他	5,993	18,450
営業外収益合計	52,801	130,638
営業外費用		
支払利息	75,959	49,535
新株発行費	47,887	－
貸倒引当金繰入額	8,373	1,934
その他	3,816	2,354
営業外費用合計	136,036	53,824
経常利益	85,877	715,214
特別利益		
固定資産売却益	40,000	285
収用補償金	－	18,445
災害保険金収入	234,387	－
資産除去債務取崩益	－	45,697
その他	3,669	2,958
特別利益合計	278,056	67,387
特別損失		
減損損失	427,773	－
固定資産除売却損	1,967	13,604
投資有価証券評価損	18,125	－
災害による損失	386,953	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	513,577	－
その他	13,215	120
特別損失合計	1,361,612	13,724
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△997,678	768,876
法人税、住民税及び事業税	73,313	70,660
法人税等調整額	56,627	△259,868
法人税等合計	129,940	△189,207
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,127,619	958,083

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）重要な後発事象
該当事項はありません。